

【様式 01】 高大連携公開授業シラバス

* 科目 No.	39101
----------	-------

1. 開設大学	福山市立大学 教育学部 児童教育学科	開講場所 (キャンパス・施設)	港町キャンパス
2. 科目名	家族とジェンダー		
	学問分野	番 号	名 称
3. 担当教員	正保 正恵	教育学部 児童教育学科	社会科学系 その他
4. 開講学期	2 学期 週 2 コマ		
5. 開講期間 (曜日) 開講時間	平成 29 年 6 月 12 日 (月) ~ 平成 29 年 8 月 3 日 (木) 16 時 30 分 ~ 18 時 00 分		
個別開講日	1 回目 6/12	2 回目 6/15	3 回目 6/19
	4 回目 6/22	5 回目 6/26	6 回目 6/29
	7 回目 7/3	8 回目 7/6	9 回目 7/10
	10 回目 7/13	11 回目 7/20	12 回目 7/24
	13 回目 7/27	14 回目 7/31	15 回目 8/3
6. 募集定員	5 人 (総授業定員 200 人)		
7. 科目内容・ 授業計画	<p>現在, 我々が立っているパラダイムにおいて起きている, 女性のさらなる労働力化, 「ピンクカラー (女性職)」の脱ジェンダー化 (男性加入), ワーク・ライフ・バランス視点に立つ男女の労働観, 生活観の変容, その中で起こっているセクハラ問題, DV 問題などの解決の視点に立った問題解決型のアクティブ・ラーニングを行う。</p> <p>【授業計画】</p> <p>1. リエンション, 講義の概要 2. Family and Gender Studies の概要と LGBT 3. 前近代における生産と消費, 家族 4. 近代化と専業主婦化・栄養士, 看護師, 保育士など「ピンクカラー (女性職)」化 5. 国際的な性別役割分業撤廃論の展開, 女子差別撤廃条約 6. デハート: 北欧型アプローチと社会主義型アプローチ 7. 性別役割分業の是非と限界 (1) 8. 性別役割分業の是非と限界 (2) 9. 男性の育児参加と労働観 10. 職場のジェンダー問題: 人権とセハラ 11. 家庭のジェンダー問題: 人権と DV (デート DV, 児童虐待) 12. “10 代の親” への教育と支援を問う: 移行期の若者の問題として 13. 「ピンクカラー (女性職)」の脱ジェンダー化 (男性加入) 14. 行政と教育の家族サポートはどうあるべきか 15. ワーク・パスセッションによる分かち合い, まとめ</p>		
8. 受講料	無料		
9. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし		
10. 学習記録	交付する		交付しない
11. 科目等履修生	受け入れる		
	単位数	単位	
	受入学年	高校	年生以上 (二次募集時 年生)
	試験・評価	受け入れない	
	特記事項		
12. 開講条件※1 あり・ない	<p>① 最少開講人数 (1 人) 本学学生の履修が無い場合, 開講しない。</p> <p>② 不開講通知日 履修登録期限満了後, 速やかに行う。</p>		
13. その他特記事項	<p>受講者についての制限事項、事前に予習しておく資料・文献など特記すべきこと</p> <p>午前 7 時時点で、広島県南部地方 (福山・尾三地区) に特別警報、暴風警報又は暴風雪警報が発令されている場合は、1, 2 限は休講、午前 11 時の時点で同様の警報が発令されている場合は、3 限以降の全ての授業を休講とします。</p> <p>また、上記以外であっても、地震等の自然災害や公共交通機関の運休等により、通学が困難であると判断した場合、休講とすることがあります。この場合、個別の連絡は行いません。基準時間に本学ホームページで確認してください。</p>		
14. 開設大学への 交通手段	<p>http://www.enica.jp/ から開設大学のホームページにジャンプして確認してください。</p>		

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。